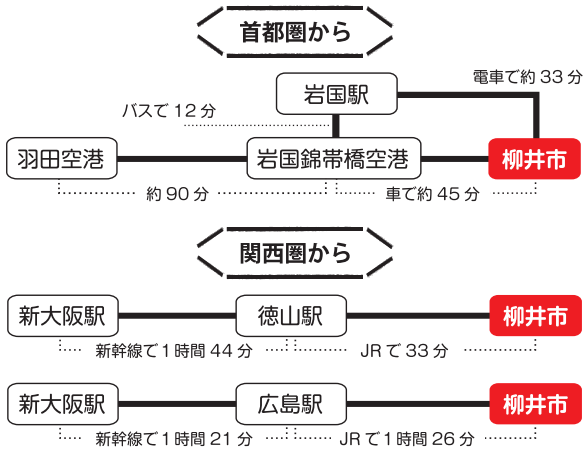




海、山、街が近い!
暮らしやすい
田舎です

やない 暮らし BOOK

山口県 柳井市 移住・定住パンフレット



ダイジェスト版



起業

古民家でうつわのお店、はじめました。

陶芸作家を目指す二人が出会ったのは沖繩本島・読谷よみたん村の窯元。社内恋愛ならぬ窯内恋愛を経て、活動の拠点に柳井市・日積ひづみを選んだ。そこは圭司さんの祖父が住んでいたところ。二人は自分たちで古民家をアトリエに改装し、器づくりをはじめた。

1年が過ぎた頃、一室を直売店にした。すると近所の人たちが知り合いを連れて、何度もやってくる。そんな日積の人たちの温かさが、先行きの不安を消してくれた。

もうすぐ子どもを授かる二人。ご近所さんもそれを楽しみにしている。

ひつみとうげしゃ
ヒツミ峠舎
三浦圭司さん(33)・アリサさん(33)

お世話になっているご近所さん



古川 松生さん(60)

古川さんも日積に移住して、ブドウ栽培をしている。だから「同じ起業家として支援したい」と、積極的に地域の人を紹介している。



高井 千里さん(69)

「圭ちゃんが帰ってきたから盛り上げてあげたいと思って」。家に来客があると、必ずヒツミ峠舎に連れて行き、紹介する。



起業

子育て

ご近所さんと一緒に子育て！

Life No.2

その夫婦は生まれたばかりの幼子連れて、東京から柳井市・日積へ引っ越してきた。「田舎でカフェをしてみたい」と考えていたが、それは関東から近い田舎のこと。まさか、瀬戸内にまでやってくるとは…。

人との出会いは人生を変えることがある。友人の父親ということで知り合った宮本剛さん。その「家を譲ってもいい」という申し出に、会いに出かけて…、日積が気に入った。ここに暮らす人たちをステキだと思った。

古民家に暮らし、カフェを営み、子育てに奮闘する毎日。何よりも日積の人たちとの交流が楽しい。



いとなみカフェ
Itonami Cafe

高崎知耶さん(36)・恵美子さん(38)・愉一くん(1)

お世話になっているご近所さん



宮本 剛さん(58)

日積で酒屋を営み、地域おこしに熱心に取り組んでいる。この宮本さんとの出会いがなかったら、高崎さん家族はここにはいないはず。



西本 利治さん(70)

日積の地域おこし団体Seeds(シーズ)の代表。子ども向けの自然教室や炭焼き、ピオトープ事業など、熱心に活動している。

起業支援

保育・学校



柳井商工会議所

起業を経営の専門的な立場から助言しています。伊藤勝彦さん(42)はIT業界を経て防大島へUターン。経営コンサルタントとして活躍しています。他に3人のアドバイザーが在籍。

柳井商工会議所 TEL 0820-22-3731 <http://www.yanaicci.or.jp>



柳井市の保育園・学校

13の保育園・保育所・幼稚園があり、未就園児と保護者のための子育て支援センターも充実しています。また、12の小学校、4つの中学校、3つの高校があり、施設の耐震に取組み、安心して学べる環境づくりを進めています。



株式会社アデリー
山下さゆりさん(32)

転職

柳井でみつけた！ キラキラした自分

札幌市で外食チェーンの店長だった山下さんはある日、商品開発の職を希望した。ところが、経験がないからと断られる。「商品開発の仕事ができるなら、どこにだって行く！」。その熱意を受けとめたのがアデリー社だった。

入社して5ヶ月後には食品カタログを任されて夢中になった。管理栄養士の資格も役立っている。大企業では味わえなかった充実が、柳井市で見つかった。



オーロラフラワー
田中景子さん(36)

転職

起業

憧れの仕事を憧れの地で 叶えた花屋さん

田中さんは花を人にあげるのが好きな女の子だった。白壁の町並みもお気に入りの場所。そんな少女の憧れを、田中さんは故郷で実現した。

学校でコンピューターを学び、東京で会社勤めをしながら、好きな花の教室に通った。やがて、27歳でUターン。空き店舗を利用して白壁の町並みに店を出した。憧れを叶えた田中さんの花が白い町並みを彩っている。



石元則夫さん(41)

転職

漁業

瀬戸内海の豊かな 漁場に暮らす漁師

勤めていた会社が倒産し、石元さんは家族と共にこの柳井市・阿月^{あつき}へ引っ越してきた。漁師をしている親戚から、その手ほどきを受けるためだ。

1年間の漁師見習いを終えると、中古の船を購入し、名産の鯛を狙って漁へ。試行錯誤を繰り返すこと4、5年。やっと一人前になった。そして今、ピカピカの新造船で阿月の港を出航する石元さんがいる。



原 英樹さん(41)

転職

農業

システムエンジニアから イチゴ農家に転身

東京でシステムエンジニアだった原さんは馬が好きという理由でニュージーランドへ渡ると、農家で働いた。逞しさに溢れるその暮らしに胸を打たれ、いつしか農家を志すように…。そして、柳井市・余田^{よた}へやってきた。

就農の補助金を活用し、ベテランのいちご農家から指導を受け、開業した。妻と共に働き、幼い子どもを育てる。憧れの逞しき農家への道を今、着実に歩んでいる。

漁業・農業就業支援

空き家バンク



山口県の漁業・農業就業支援制度

漁師を目指す方には漁業就業支援制度(研修・給付金他)。農家を目指す方には青年就農給付金や研修、経営計画策定などの支援制度が充実しています。



空き家バンク調査員

柳井市の空き家を私たちが紹介します。「海が見える場所」、「家庭菜園がしたい」など、ご希望をお聞かせ下さい。見学を手配するなど、物件探しをお手伝いします。

やない暮らしマップ



- 保育園・幼稚園
- 小学校
- 中学校
- 高校
- 市役所・出張所・連絡所
- 総合病院



☑ 太陽燦々、瀬戸内気候

柳井市は全国でもトップクラスの日照時間の長さ。日光が燦々降り注ぎ、海の青と山の緑がひととき美しいところです。瀬戸内海に面しているため、晴れの日が多くても夏の暑さは比較的のびやすく感じます。また、冬も山間部を除いて、気温はあまり下がらず、積雪もほとんどありません。

☑ 伝統文化が息づき、スポーツが活発



柳井市には伝統文化が大切に継承されています。民芸品「金魚ちょうちん」、全国に知られた「柳井鰯」等はほんの一例です。スポーツでは全国優勝（柳井高校、昭和33年夏）した野球をはじめ、スポーツの活発な土地柄。施設も充実しています。

☑ 人口1万人当たりの病院数が全国市町村で40位



周東総合病院(360床)を中心に4つの総合病院と38の一般診療所があります。近隣の岩国市・周南市等には高度医療・緊急医療がさらに充実した病院があり、ドクターヘリによる緊急出動にも対応しています。

☑ 地震の少なさ、全国3位

大正12年(1923)以降、山口県では震度6以上の地震は発生していません。また、地震の数も佐賀県、富山県に次ぐ全国3位の少なさ。もともと活断層が少なく、存在していても活動度がB級以下です。比較的地震に関する心配のない地域といえます。なお、柳井市は地震や高潮等の災害対策の強化に努めています。

☑ 縄文時代からの営み



縄文時代から人々が暮らしてきた地域。日本最大級の大鏡が出土した茶臼山古墳があります。また、海上交通の要衝、交易の拠点として栄えました。江戸時代には岩国藩のお納戸として繁栄。白壁の町並みがその面影を現在に伝えています。

☑ 豊かな自然と買物の便利さが同居



豊かな自然、温暖な気候に育まれ農業と漁業が盛んです。水稲、野菜、イチゴ、みかんや花きの栽培など。また、タイ・アジ・タコ漁が行なわれています。一方、商業が発展。さまざまな業態・業種が集積し、広域から買物客が集う街でもあります。

TAKE FREE



やない暮らしBOOK / 山口県柳井市 移住・定住パンフレット ダイジェスト版

発行 柳井市(山口県)

平成27年7月

山口県柳井市南町一丁目10番2号 TEL0820-22-2111

<http://www.city.yanai.jp/>